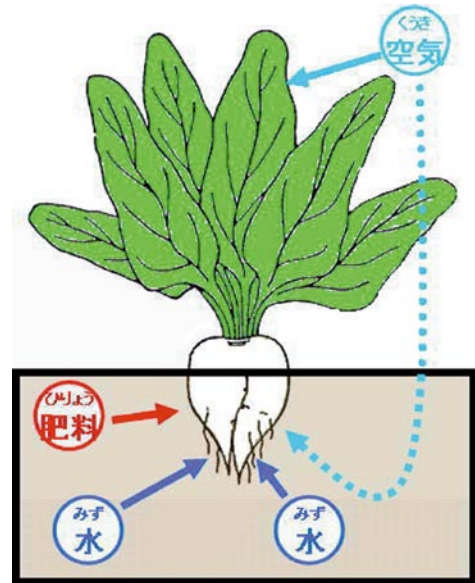


## 2 土と肥料のお話

「土」は作物の我が家です。

- 「土」は作物をしっかりと支え、強い風や雨から作物を守ります。
- 「土」は水や肥料を貯めてくれます。
- 作物は水と肥料、そして空気を吸って大きくなります。
- 作物は、欲しいときに、「土」から水や肥料を受け取ります。
- 作物は根からも空気を吸うので、「土」の空気の通りやすさも大事です。



作物と「土」

### 豆知識 ～釧路の「土」～

釧路の農地の「土」の多くは、摩周岳などの火山の噴火の時に飛んで来た火山灰が「もと」になっています。

厚く降り積もった火山灰が、いろいろな自然の力により、何百年あるいはもっと長い時間をかけて、「土」になります。「土」を掘ると、そんな歴史がわかります。

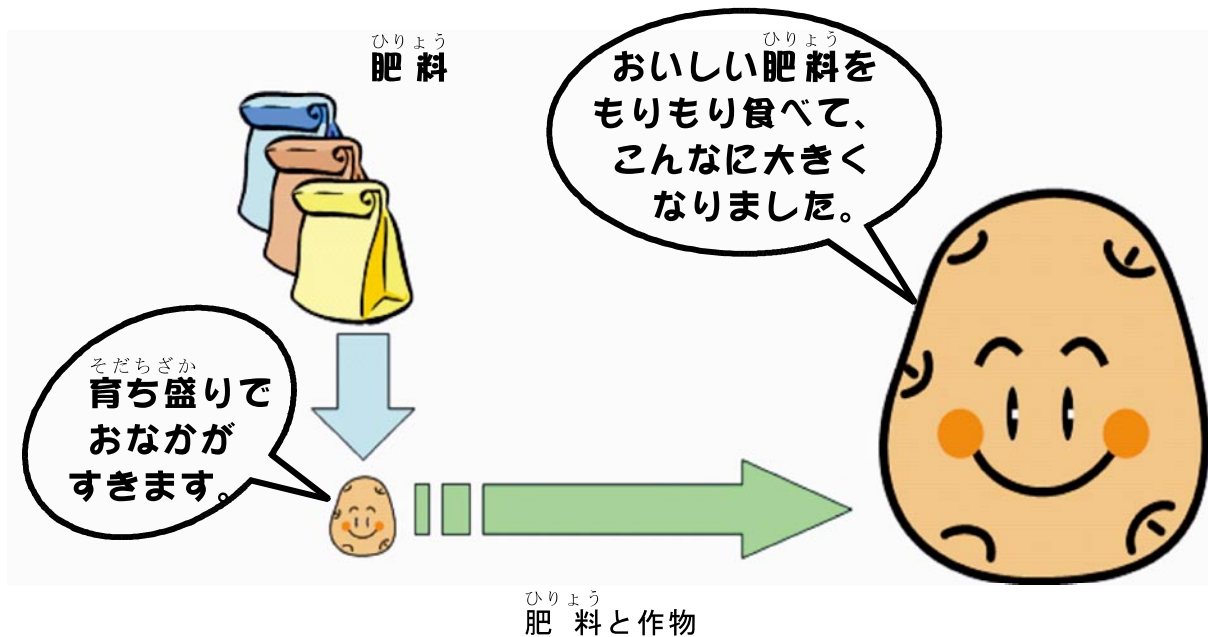
ほかに、釧路湿原や川の近くにみられる、枯れた植物が長い年月の間に厚く積み重なってできた泥炭土も釧路の特徴的な「土」です。泥炭は、1年でおおよそ1ミリメートル厚くなると言われています。



しべちやちようにじべつ  
標茶町虹別の  
どじょうだんめんの  
土壤断面

# 「肥料」は作物のごはんです。

- ・ 作物が大きくなるためには、「ごはん」が必要<sup>ひつよう</sup>です。
- ・ 作物に大きく、そしておいしくなってもらうには、肥料<sup>ひりょう</sup>の量<sup>りょう</sup>と成分<sup>せいぶん</sup>のバランスを考<sup>じゅうよう</sup>えることが重<sup>じゅうよう</sup>要<sup>じゅうよう</sup>です。



## まめちしき 豆知識 ~いろいろな肥料~

ひりょう 肥料には多くの種類<sup>しゅるい</sup>があり、そのわけ方もたくさんあります。たとえば、どこから手に入れたのか（自分で作ったのか、お店で買ったのか）、おもな成分<sup>せいぶん</sup>が何か（窒素<sup>ちっそ</sup>質<sup>しつひりょう</sup>肥料<sup>さんしつひりょう</sup>、リン酸<sup>しつひりょう</sup>質<sup>せつかいしつひりょう</sup>肥料<sup>ひりょう</sup>、カリ<sup>しつひりょう</sup>質<sup>せつかいしつひりょう</sup>肥料<sup>ひりょう</sup>、石灰<sup>せつかいしつひりょう</sup>質<sup>せつかいしつひりょう</sup>肥料<sup>ひりょう</sup>・・・）などです。また、肥料<sup>ひりょう</sup>が何からできているのかも大事なわけ方です。

農家<sup>こうぶつ</sup>のみなさんは、鉱物<sup>げんりょう</sup>や空気<sup>せいさん</sup>を原料<sup>せいさん</sup>として工場<sup>せいさん</sup>で生産<sup>せいさん</sup>される化学<sup>ひりょう</sup>肥料<sup>せいさん</sup>と、動物<sup>かちく</sup>や植物<sup>によう</sup>、あるいは家畜<sup>かちく</sup>のふん<sup>によう</sup>や尿<sup>によう</sup>からつくられる有機<sup>ゆうきしつひりょう</sup>質<sup>しつひりょう</sup>肥料<sup>しつひりょう</sup>を組み合わせ<sup>ゆうきしつひりょう</sup>て使<sup>しつひりょう</sup>っています。また、最近<sup>さいきん</sup>、「有機<sup>ゆうきしつひりょう</sup>質<sup>しつひりょう</sup>肥料<sup>しつひりょう</sup>をもっとたくさん作物<sup>しつひりょう</sup>にあげよう」という動き<sup>しつひりょう</sup>が強<sup>しつひりょう</sup>まっています。